

財団の理念

「県民一人ひとりの健康づくりを支援するとともに、県民が安全で、安心して健康に生活できる地域社会の実現に貢献します。

健康経営の推進方針

「県民の健康づくりは、職員の健康づくりから」もスローガンのもと、職員全員が個性や能力を最大限に発揮し、お互いを尊重しながら生き活きと仕事ができる職場環境の整備と、職員とその家族の健康保持・増進ができる仕組みづくりの実現

健康投資・施策

健康投資効果

目標年：2027年

施策の取り組み状況に関する指標

職員の意識や行動変容に関する指標

健康関連の最終的な目標指数

※赤字は2024年実績値

生活習慣病・がん・各種疾病対策関連

五大がん検診受診奨励

五大がん検診受診率
目標：90% 平均 84.2%

要医療機関受診者の受診奨奨

要医療機関受診率
目標：90% 85.2%

特定保健指導の実施

特定保健指導実施率
目標：80% 69.2%

管理栄養士監修の仕出弁当の提供（環境支援）

管理栄養士監修の仕出弁当の利用者の増加

運動習慣定着の支援

「G-WALK+」への登録を推奨

女性の健康支援（相談窓口の設置）

女性の健康支援相談窓口認知率
目標：100%

健康投資効果

職員の意識や行動変容に関する指標

健康関連の最終的な目標指数

※赤字は2024年実績値

メンタルヘルス対策関連

ストレスチェックの実施・集団分析

ストレスチェック受検率
目標：95% 93.4%

セルフケア研修会の実施

セルフケア研修会の実施
目標：100% 70%

高ストレス者の補足的面談の受診奨奨

満足度 目標：95% 85%

相談事業の利用促進

相談事業の認知度
目標：100%

コミュニケーションの活性化

補足的面談受診者の割合
目標：25% 9%

ワークライフバランスの促進

全部署 1 on 1 面談内容の充実

健康投資効果

職員の意識や行動変容に関する指標

健康関連の最終的な目標指数

※赤字は2024年実績値

その他の健康施策

熱中症対策

熱中症対策 満足度アンケート

自己研鑽

熱中症対策基本方針の策定・報告体制の構築

職員提案の実施

健診部ワーキンググループとの連携

カスハラ対策

自主研修制度の充実、改善

通年実施

研修会の実施 参加率目標：100%

カスハラ相談窓口の設置

生活習慣病・がん対策の強化、各種疾病の早期発見・早期治療により、生産性低下の防止

- « K G I »
- ・要医療機関受診該当者の割合 30%以下
 - ・特定保健指導対象該当率 目標：10%以下 13.9%
 - ・高血圧コントロール率 目標：60%以上 40%
 - ・アブセンティイズムの減少

職員が心身ともに良好な状態で、個性や能力が発揮できる職場であること

メンタルヘルス不調による生産性低下の防止

- « K G I »
- ・高ストレス者の割合 10%以下 12.3%
 - ・健康リスク値 目標：95 107
 - ・アブセンティイズムの減少

職員が安心して生き活きと働ける職場づくり

職員の健康課題

・職員の約8割が40歳以上であり、がんを始めとする疾病疾患などのリスクが高い年齢層の割合が高い。

・高ストレス者、潜在的なメンタルヘルス不調者。

健康風土の醸成

健康経営の浸透状況

方針実現のための体制・環境

サポート・組織的支援(POS、WSC等)

健康経営の職員の認知度

健康経営優良法人の認定

上司/同僚からのサポート

経営トップの発信の有無

生き活き健康事業所宣言の登録